

成長期の教会

-高札撤去から大日本帝国憲法発布まで-

「建て上げと宣教」
靈的信仰的な成長
生活の中で証され
福音が宣教される

<序>宣教師たちの働き

I. 数的成長について

1. 神学校の設立と日本人教職者の養成

C・M ウィリアムズ 「日本の伝道は日本人教職によるべきである」

2. 教会と教会の協力

- ①キリスト教青年会
- ②日本語聖書と讚美歌の出版
- ③全国基督教徒大親睦会

3. 信仰の覚醒(リバイバル)

J・バラ 「祈りの週以来、絶えざるリバイバルが続いて来ました…。その良き実は、より高きクリスチャン生活の標準、神の言葉から生ずる愛、キリスト者の一致、そして魂への愛において顕著に現れています」

II. 問われる質的成長

1. 背景としての欧化主義

使徒 11:12-15 「聖霊が初めに私たちの上に降ったのと同じように」

「宗教上からいえば耶蘇教の繁盛を招き、而して風俗上より言えばバタ臭きもの全盛を極め…蓋(けだ)し欧化主義の時代たる」(「植村正久とその時代第五巻」23-24p)

2. 入信の動機と特色

「信仰三十年基督者列伝」(1921年警醒社)

- ①遅れをとった武士階級の子弟たち
- ②大都市に集中している
- ③青年層の比率が高い

3. 内村鑑三の場合

「余はいかにしてキリスト信徒となりしか」(内村鑑三著岩波文庫)

「イエスを信じる者の契約」には 1877年3月5日に署名

日本人らしい信仰??

分かち合いのための質問

- 1.信仰の成長とは何ですか? 2.自分にとっての課題は何ですか? 3.そのためにあなたは何をしますか??